



ホームページ



Instagram

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

ひらのの成人式



二月一日(土)にひらのにて第三回
目の成人式が行なわれました。ささや
かですが、日頃一緒に過ごしているな
かまや職員でお祝いし、活動の中で作
ったキーホルをご家族にプレゼント

しました。一般の成人式にはなかなか
参加が難しいと仰られるご家族に好
評を頂いています。今回はお一人の利
用者さんのお祝いをし、出席して頂い
たご両親に感想を書いて頂いたので

～SOUTA collection～

第2段です!



紹介させてもらいたいと思います。
「息子の二〇歳のお祝いを盛大に行っ
て頂きありがとうございます。せつ
かくの会が危うく台無しになるのでは
とヒヤヒヤしましたが・・・。昨年は息
子自身にとりまして大変厳しい年と
なり、前にお世話になった施設も退所
する結果となってしまいました。先行
き不安な時期もありましたが、無事「ひ
らの」さんへお世話になることができ
節目の成人式まで開いて頂き大変感謝
しております。今回初めて施設を見学
させて頂きました。アットホームで安
心してお世話になれると確信できまし
た。これかもご迷惑をお掛けすること
が多いかと思いますが、少しずつでも
成長させて頂き、毎日笑顔で過ごせる
ことができればと願っています。
今後共、宜しくお願い致します。」



くれよん 卒業式



三月二十四日（火）に卒業式が行われ、今年度は八名の卒業生が参加しました。

入場の際は恥ずかしそうにしながらも、どこか誇らしげな表情も見られた子ども達です。スライドショーや茶話会等、みんなでワイワイしながら楽しいひと時を過ごしていました。今回は卒業生の保護者の方に、くれよんを利用する中で感じた思いを書いて頂いたので、掲載したいと思います。ご協力ありがとうございました。



くれよんの初めての利用日にお迎えに来ていただいた時、娘が不安そうな顔をして出かけて行ったのが、つい昨日のことの様に思い出されます。

あれから十三年、不登校になつたりと様々なことがありましたが、その都度、職員の方々が真剣に向き合い、温かく寄り添って下さいました。時には私の事まで気にかけて下さり、感謝の気持ちで一杯です。十三年

間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

Eさん



くれよんでの六年間、早いもので、いよいよくれよん卒業の時を迎えます。あつという間の六年間でした。

中学・高校と過ごしたくれよんでの経験は、娘にとって沢山の刺激となり、お友達の会話、行動、職員の方の声掛けなど、毎日の楽しい経験が娘の成長に大きくつながったと思っております。

このくれよんでの経験を胸に四月からの生活介護でも笑顔で頑張っていけます。六年間ありがとうございました。

Nさん

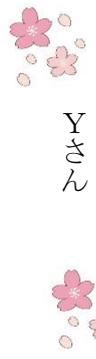


くれよんは、土曜日だけの利用でした。季節などのイベントが充実していたので、行事を理解し、楽しむ事が出来るようになりました。

母としては、職員の方々が娘の事で相談や悩みを熱心に聞いてくださり、本人の成長に合わせて色々取り組んでいた事、何より感謝しています。

職員、お友達の出会いや別れ、人との関わりやコミュニケーション、かけがえのない経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

Yさん



くれよんでお世話になる事になったのは、小学校六年生の時でした。息子は、言葉は沢山話しますが、言葉の意味が理解できず、人との会話が難しいです。また、こだわりが強く、環境の変化に弱く、親である私でさえもどう接していけばいいのか分からなくなる時もあります。

くれよんでお世話になったこの七年の間も、落ち着いてきたなと思えば、また不安定になり新しいこだわりが強く出てしまったりの繰り返しで、今もそんな日々を過ごしています。くれよんのスタッフさん達はそんな息子の特性も理解しながら、その都度色々考えて対応して下さいました。

卒業後もきつと大変な事色々あると思いますが頑張っていきたいと思います。くれよんのスタッフ様、お世話になりました。ありがとうございました。



Fさん

子供共この時期ならではの悩み事も一緒に考え、解決に向けていただいたこと、とても心強かったです。卒業になり寂しいですが、こちらで過ごした楽しい経験は、ずっと娘の中にあります。ありがとうございました。

Oさん



くれよんでは、五才からお世話になっていて十八才の現在まで義務教育の期間よりも長い間、お世話になりました。

はじめの若かりし頃の私は、多動でこだわりの強い息子と少しでも離れたい気持ち以外にも利用出来るかと聞くと感情のまま正直にとっても喜びました。

そして当時はよく「お母さん、愛情がないな」と注意されて懇談のたびに泣いていました。

今思えば、あの時の私は愛情がなかったのかもかもしれません。息子が大きくなって落ち着いて毎日を過ごせるようになった今、今頃になって息子を可愛いと思えるようになってきました。でも近づくこと嫌がる息子（笑）もつと小さくて可愛らしい時にしておけばよかったと今になって後悔しています。

でも、くれよんの皆さんたつぷり愛情を注いでいただいたお陰で今があると思っています。

親子共々、大切なことを教えていただきありがとうございます。

Bさん



パンフレット完成！



子ども達と協力して作成していたパンフレットが完成しました！紙面には、子ども達が書いたイラストを入れたり、とても可愛らしいものが出来上がりました。

ホームページからダウンロードも出来るので、ぜひ一度ご覧になって下さい。

「グループ2」

委員会活動の紹介

グループ2は週一回・授産委員、広報委員、まごころ委員に分かれて委員活動をしています。広報委員は企画を考える為に会議を開き、新聞を作成する事になれば気になる事や紹介したい事を、利用者自身がパソコンで調べたり、いろんな人に聞き取りを行って情報収集をしています。その後実際に記事になる事を想定しレイアウトを考え、パソコンで記事を作成していきます。



すごく時間のかかる作業ですが広報委員の三人の利用者さんは一生懸命に取り組んでいます。記事には看護師さんや栄養士さんにも聞き取りを行い『健康に過ごす為の知恵袋』等も記載しています。新聞名は「つなぐ愛新聞」です。第一号を第二ひらの利用者のご自宅、グループホーム向けに去年の十二月に発行しています。

続きましての紹介は、授産委員の活動です。授産品の商品開発や在庫管理、備品の買い出し、商品をどのようにして販売していくのか等の会議を開きます。商品としてどんな物を作れば喜んでもらえるのかを委員会でも話し合い、決定したものを授産委員が中心となり実際の制作はグループ2の利用者が全員で取り組んでいます。『これも可愛い、皆買ってくれ」といいなあ』『こんな物も作ってみたい!』などたくさん意見も出ています。商品開発の話し合いの時には話が凄く盛り上がります。



平野商店街のバザーにも参加させてもらい西事業所の授産品がたくさんの方達に知ってもらえるよう、商品開発、商品作成、販売と頑張っています。現在授産品として、祝箸、ビーズプレス、レジホルダーを主に作成しています。

最後にまごころ委員の活動。この活動はみんなが普段困っていることや、こんな物があればいいなあと思う事を依頼され、どうすればみんなが日中過ごしやすいかを考えて取り組んでいます。もちろんその為の事業所内のお手伝いもなんのその!力仕事も手間のかか

たくさんのご購入

ありがとうございます

る面倒な依頼も率先して活動的に取り組んでいます。グループ2はそれぞれの委員会に分かれ皆で協力しながら日々色々な事に挑戦して活動を盛り上げていきます。

お正月の祝箸



グループ2が授産品で作っている祝箸を去年の年末にお正月用にたくさんの注文を頂きました。祝箸を作成していくにあたり、利用者さんは何度も何度も折り紙で練習を重ね、販売出来るようになりました。一つ一つゆっくり丁寧に仕上げ、折り紙の模様やそれに合う帯の色を選びながら作り、可愛くキレイに仕上げた時には職員に『できた!見て』と自慢げに見せてくれます。作成する人の個性が感じられる祝箸となっています。

グループ2のメンバーが心を込めて制作した祝箸はお正月だけではなくお誕生日や節句など幅広い用途で使って頂けます。テーブルが色鮮やかになりますよ。